

にっぽん子育て応援団 2017年度活動報告書

(2017年4月1日～2018年3月31日)

1 重点活動目標の設定

- ・2015年4月「子ども・子育て支援新制度」が本格スタートした。2012年度年次総会において設定した重点活動目標の実現に向けて、子ども・子育て支援施策新制度推進の財源確保とともに、家族給付へのさらなる国民の理解を求め、事業の中身、質についての議論を進めて行く。
- ・2012年12月、税と社会保障の一体改革として、社会保障の4番目の柱に、子ども・子育て・若者支援が仲間入りした。しかし、その後の政権交代で、現行政府は2015年10月、2016年7月と2度にわたり、消費税の税率を10%に上げる時期を延期すると宣言、子ども・子育て支援の財源確保の道筋がわからなくなってしまった。
- ・今一度原点に立ち返り、社会全体でこどもと子育てを応援する機運の醸成とともに、財源確保とその方策、望ましい保障と負担のあり方などについて、国会議員や有識者、支援者、当事者とともに学び、考えることとしたい。

- ・「真の社会保障・税一体改革を通じた子ども・子育て支援の充実を」アピールより

「にっぽん子育て応援団の目標」

すべての子どもたちが、家族の愛情に生まれ、
また、子ども同士の積極的な関わり合いの中で、
そして、地域や社会の多くのおとなたちの慈しみの中で、
心豊かに成長できる環境を保障すること

「目標実現のための、にっぽん子育て応援団の中期的重点活動テーマ」

子どもと家族を支える質的環境向上のためのさらなる財源確保
質的環境向上には、教育環境も含む生活全体を支えることが大切であるとのコンセンサスづくり
生活・教育環境支援としてのメニューおよび担い手についての検討
以上を踏まえた財源確保の方策と負担のあり方についての検討

<具体的展開>

- ・今一度原点に立ち返り、社会全体でこどもと子育てを応援する機運の醸成とともに、財源確保とその方策、望ましい保障と負担のあり方などについて、国会議員や有識者、支援者、当事者とともに学び、考える。

- ・第1回 こども・子育て支援施策の現状と課題について
6月21日（水）18：30～20：30 運営委員会を活用 講師：度山徹さん
- ・第2回 こども保険に関する意見交換会
7月3日（月）17：00～ 自由民主党衆議院議員 小泉進次郎氏
- ・第3回 連合さんとの意見交換会
8月2日（水）17：00～ 連合会館7階会議室 総合政策局長 平川則男さん

☆緊急フォーラム「大変だ！ 子どもの未来が崩れそう」の開催

- ・開催日時：10月1日（日）10：00～16：30
- ・場所：東京家政大学板橋キャンパス120周年記念館1階多目的ホール
参加者80名、保育8名、懇親会30名

2 啓発活動

- ・ホームページによる普及啓発活動

公式サイト閲覧総数 1,053,265 (2018年3月31日現在) (2017年3月31日現在 918,706)

	29年度初頭数値	29年度3月31日現在
個人サポーター宣言	4692人	4701人(現在休止中)
企業・団体サポーター	35社	37社
NPO・市民団体サポーター	267団体	279団体
自治体首長サポーター登録	36人	33人

- ・特に今年度は自治体首長サポーターの引退があり、サポーター数が減っている。

3 調査研究活動

「地域まるごとケア・プロジェクトに伴う地域包括及び子育て世代包括ケア先進自治体調査」

全国8カ所でのヒアリングおよび4回の地域人材交流研修会を行い、調査内容を報告書にまとめるとともに報告会で発表した。

「2017年衆議院総選挙 子ども・子育て支援政策に関する政党アンケート」

10月22日投票の衆議院総選挙に向けて、各政党に子ども・子育て支援政策に関するアンケートを実施、自由民主党、公明党、希望の党、立憲民主党、共産党、社民党、日本維新の会から回答を得、にっぽん子育て応援団公式サイトにアップ、公開した。

4 情報提供・交流活動

(1)勉強会等の開催(企業・団体サポーター向け講座ほか)

首都圏4カ所で開催する。

うち1回は企業・団体サポーター向け講座とする。

平成29年度は、地域まるごとケア・プロジェクト地域人材交流研修会を東京都清瀬市で開催した。

- ・結成8周年記念フォーラム「すべての子どもたちが 愛されて育つ社会づくりへ」

2017年5月28日(日)13:30～16:30

明治学院大学白金キャンパス本館1101講義室

参加者 100名 保育 5名

基調講演 すべての子どもと子育て家庭に手を差し伸べる社会へ

- ・児童福祉法改正と新しい子ども家庭福祉

明治学院大学学長

松原康雄さん

パネルディスカッション

すべての子どもが愛されて育つ社会に求められること

- ・行政レクチャー 児童福祉法改正に伴う新しい動き

厚生労働省雇用均等・児童家庭局長 吉田 学さん

パネリスト:明石市長

泉 房穂さん

千葉県中核地域生活支援センター がじゅまる センター長 朝比奈ミカさん

朝霞市子育て支援センターおもちゃ図書館なかよしばあく施設長 住田貴子さん

コメンテーター:厚生労働省雇用均等・児童家庭局長 吉田 学さん

コーディネーター:樋口恵子 にっぽん子育て応援団団長

勝間和代 にっぽん子育て応援団団長

☆緊急フォーラム「大変だ！ 子どもの未来が崩れそう」の開催

- ・開催日時：10月1日（日）10：00～16：30

- ・場所：東京家政大学板橋キャンパス120周年記念館1階多目的ホール

参加者80名、保育8名、懇親会30名

◇午前の部◇ 10:00～11:45

「現状を正しく把握するための勉強会—この10年何が変わったか」

- ・参加者による少人数グループでのワークショップ
レクチャー 度山徹さん 厚生労働省参事官
ファシリテーター 松田妙子 につぼん子育て応援団事務局

◇午後の部◇ 13:00～16:30

緊急フォーラム 大変だ！子どもの未来が崩れそう

パネルディスカッション「これが子育ての現実だ」

- ・パネリスト
NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事 岡本聡子さん
沖縄県南風原町民生部こども課長 前城 充さん
兵庫県明石市福祉局こども総合支援部長 佐野洋子さん
東京家政大学短期大学部保育科准教授 平野順子さん
東京家政大学子ども学部長・小児科医 岩田 力さん
・コーディネーター につぼん子育て応援団団長 安藤哲也
につぼん子育て応援団団長 勝間和代

提案タイム「まずお金！ 財源について考えよう」 14:30～

「こども保険」 自由民主党衆議院議員 小泉進次郎さん→総選挙のため欠席

「連合としての考え方」 日本労働組合総連合会 平川則男さん

「子どもたちの環境整備に向けた社会貢献活動」

住友生命保険相互会社ブランドコミュニケーション部

「ふるさと納税 目的は困窮子ども家庭の生活支援」 文京区

ワークショップ「社会全体で子どもを支える財源のあり方」

レクチャー 度山徹さん 厚生労働省参事官

ファシリテーター 松田妙子 につぼん子育て応援団事務局

- ・コーディネーター につぼん子育て応援団団長 堀田 力
につぼん子育て応援団企画委員 奥山千鶴子

☆2017年度企業・団体サポーター交流会

2018年2月26日（月）17:00～19:00 日本航空株式会社本社会議室

出席者 88名 懇親会参加者 26名

開会のご挨拶 日本航空株式会社人財本部長 小田卓也さん

につぼん子育て応援団団長 勝間和代

イクボス座談会「働き方改革とダイバーシティ・マネジメント」

1. 厚生労働省「仕事と生活の両立支援対策について」

厚生労働省雇用環境・均等局職業生活両立課長 源河真規子さん

2. 基調講演「働き方改革は生き方改革」

につぼん子育て応援団団長 ファザーリング・ジャパン代表理事 安藤哲也

2. パネルディスカッション「働き方も社会も変える イクボスの育て方」

コーディネーター につぼん子育て応援団団長 経済評論家 勝間和代

パネリスト

日本航空株式会社路線統括本部国際路線事業本部長

米澤 章さん

につぼん子育て応援団団長 ファザーリング・ジャパン代表理事 安藤哲也

につぼん子育て応援団企画委員 21世紀職業財団会長

岩田喜美枝

につぼん子育て応援団企画委員 育児休業取得経験者

山田正人

(2) メールマガジンの発行

毎月1回発行

(3) サポーター登録団体用告知ブログおよび「子ども・子育て会議推進応援団」ブログの運営

サポーター団体のイベント等を告知するとともに、国の子ども・子育て会議の傍聴記や 地方版子ども・子育て会議設置の動き、勉強会報告など、国の動きや全国各地の動きを逐次紹介した。

(4) 「NPO 市民活動団体 ML」「わがまちの子ども・子育て会議 ML」の運営

全国の NPO 市民団体の情報交流、地方版子ども・子育て会議に関わる行政マン、NPO など、関心の高い層を集約、情報交流、意見交換の場としてもらった。

(5) 調査、研究プロジェクトなどを通じて得られた情報などの提供を、ホームページや facebook、集会などを通じて行った。また、各活動の知見を活かした交流事業、意見交換会、アピール集会等を開催した。

5 政策提言活動

・年に2回(5月および10月ごろ)フォーラム等を開催し、具体的な提案を、政府、自治体、関係団体、市民等に広く提言を行った。

(再掲) 結成 8 周年記念フォーラム「すべての子どもたちが 愛されて育つ社会づくりへ」

2017 年 5 月 28 日(日) 13:30～16:30

明治学院大学白金キャンパス本館 1101 講義室

参加者 100 名 保育 5 名

基調講演 すべての子どもと子育て家庭に手を差し伸べる社会へ

・児童福祉法改正と新しい子ども家庭福祉

パネルディスカッション

すべての子どもが愛されて育つ社会に求められること

・行政レクチャー 児童福祉法改正に伴う新しい動き

(再掲) 緊急フォーラム「大変だ！ 子どもの未来が崩れそう」の開催

・開催日時：10月1日（日）10：00～16：30

・場所：東京家政大学板橋キャンパス120周年記念館1階多目的ホール

参加者80名、保育8名、懇親会30名

◇午前の部◇

「現状を正しく把握するための勉強会—この10年何が変わったか」

◇午後の部◇

緊急フォーラム 大変だ！子どもの未来が崩れそう

パネルディスカッション「これが子育ての現実だ」

提案タイム「まずお金！ 財源について考えよう」

グループワーク「社会全体で子どもを支える財源のあり方」

(再掲) 「2017 年衆議院総選挙 子ども・子育て支援政策に関する政党アンケート」

10 月 22 日投票の衆議院総選挙に向けて、各政党に子ども・子育て支援政策に関するアンケートを実施。アンケート依頼とともに、緊急フォーラムでのアピール文も送付。自由民主党、公明党、希望の党、立憲民主党、共産党、社民党、日本維新の会から回答を得、にっぽん子育て応援団公式サイトにアップ、公開した。

6 講師派遣活動

・世代、党派を超え、社会が一丸となって子ども・子育て家庭を応援する社会づくりに向けて、地域、職場での子

育てを応援する気運の醸成のため、団長、企画委員、運営委員などによる講師派遣を行った。

- ・今年度の実績： 5月9日 宮城県家庭教育支援チーム研修会 奥山千鶴子企画委員
- 10月21日 高知県少子対策フォーラム 岩田喜美枝企画委員
- 11月21日 町田市職員研修「子育て支援における子育てひろばのあり方」
奥山千鶴子企画委員
- 11月26日 立川市 子育て・いれかわりたちかわり実行委員会
「(仮題)子育てしやすくなったの？立川市
～出会いとはじめの一步の会から13年～」ワークショップ
事務局 松田妙子
- 12月2日 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会主催
全国子育てひろば実践セミナー 村木厚子企画委員
- 2月24日 つくば子育てコミュニティーワーク実行委員会主催
キックオフミーティング 事務局 松田妙子

7 地域まるごとケア・プロジェクト活動

・さわやか福祉財団からの委託事業。全世代に向けた地域包括ケア＝地域まるごとケア体制構築に向け、子育て支援コーディネーターの実態把握と、生活支援コーディネーターとの地域連携体制を築ける子育て支援コーディネーター養成と普及に向けた活動を行った。

・2017年度実施スケジュール

ヒアリング 北海道夕張市 9月21日、22日

福島県いわき市 9月5日、6日、10月6日

東京都文京区 10月18日、11月1日

石川県金沢市 9月27日、28日

大阪府豊中市 8月22日、23日

兵庫県明石市 8月3日、4日

長崎県長崎市 10月26日、27日

沖縄県南風原町 7月4日、5日

人材交流研修会 「ともに暮らす仲間として、地域でどう支えるか」

秋田県秋田市 「みんなでつながるべ～ 多世代共生のまちづくり」

10月9日(月・体育の日)13:30～16:30

秋田県青少年交流センターユースパル大講習室

話題提供者: にっぽん子育て応援団事務局 松田妙子

多世代共生の居場所「んなのいえ」 竹内治子さん

元五城目町地域おこし協力隊

一般社団法人ドゥーラ協会理事 丑田香澄さん

後援: 秋田県

協力団体: NPO 法人あきたキッズネットワーク

参加者: 45名 保育: 13名

東京都清瀬市 「私たちの手で支え合う地域まるごとケア」

10月17日(火)13:30～16:30

清瀬市男女共同参画センター会議室 1・2

話題提供者:NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロ代表理事 小俣みどりさん
清瀬市生活支援コーディネーター 鍵和田卓也さん
協力団体:NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロ
後援:清瀬市 清瀬市社会福祉協議会
参加者:36名 保育:2組

香川県高松市「大家族のように居心地のよい居場所を作ろう
一子ども・子育て家族ウェルカムな場づくりのコツ」

11月8日(水)13:30～16:30

サンポートホール高松 61 会議室

話題提供者:NPO 法人びーのびーの理事長 奥山千鶴子
NPO 法人ゆうゆうクラブ理事長 田中博子さん

ファシリテーター:NPO 法人わははネット理事長 中橋恵美子さん

協力団体:NPO 法人わははネット

後援:高松市

参加者:

兵庫県尼崎市「0～18歳を地域まるごとで支えよう 子どもが真ん中のまちづくり」

11月24日(金)13:30～16:30 尼崎市総合文化センター 第2会議室

話題提供者:NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長 奥山千鶴子

社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会園田支部地域福祉活動専門職

長町章子さん

NPO 法人やんちゃんこ代表理事 濱田英世さん

尼崎市こども青少年本部事務局こどもの育ち支援センター準備担当課長

友弘真由美さん

ファシリテーター:NPO 法人せたがや子育てネット代表理事 松田妙子

協力団体:NPO 法人やんちゃんこ

後援:兵庫県 尼崎市

・調査報告書の作成

報告会で配布。

・2017年度報告会の開催

2018年2月18日(日) 発明会館ホール 13:30～16:30

出席者 88名 保育 1組1名

開会挨拶:清水肇子 公益財団法人さわやか福祉財団理事長

行政説明:定塚由美子さん 厚生労働省社会・援護局長

基調講演:原田正樹さん 日本福祉大学教授

厚生労働省地域力強化検討会座長

報告と提言 先進自治体調査報告

安斉尚朋さん 一般社団法人らぶらす代表理事

浦田 愛さん 社会福祉法人文京区社会福祉協議会地域福祉推進係

谷 美和さん 長崎市福祉部地域包括ケアシステム推進室係長

コメンテーター 原田正樹さん 日本福祉大学教授

ナビゲーター 葦澤美也子 高祖常子 當間紀子

地域まるごとケア・プロジェクトメンバー

報告会の内容を反映させた年度報告書の作成と配布。

8 その他の活動

- ・上記事業の推進のために、運営委員会および事務局会議を、毎月1回開催した。

9 後援名義使用イベントほか

- ・2017年6月16日(金)・17日(土) ホルトホール大分で開催
ファザーリング全国フォーラム in おおいた 主催:ファザーリング全国フォーラム in おおいた実行委員会
(NPO 法人ファザーリング・ジャパン、大分県、NPO 法人ファザーリング・ジャパン九州、大分市ほか)
- ・2018年1月15日(月)9:00~16:00 イイノホールで開催
『民間きずな国民会議』 主催:高齢社会 NGO 連携協議会
(Jリーグ、あしなが育英会)
- ・2018年2月8日(火)13:00~17:30 イイノカンファレンスセンターで開催
自治体・企業・NPO による「子育て支援連携事業」全国会議 主催:内閣府
(日本フィランソロピー協会)

にっぽん子育て応援団 平成29年度会計報告(案)

(H29年4月1日～H30年3月31日)

【収入の部】

科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 会費収入	1,060,000	830,000	830,000	0	-230,000
2. 賛同金収入	200,000	153,036	153,036	0	-46,964
3. 民間助成金収入	0	0	0	0	0
4. 講師派遣収入	300,000	516,280	516,280	0	216,280
5. 寄付金収入	100,000	100,000	100,000	0	0
6. 事業受託費	4,737,848	4,737,848	0	4,737,848	0
7. 受託事業進行管理収入	2,430,000	2,430,000	0	2,430,000	0
8. 資料代収入	400,000	376,800	376,800	0	-23,200
9. 雑収入	10,000	10,643	10,643	0	643
10. 借入金	0	0	0	0	0
11. 前受金	0	0	70,000	0	0
12. 未収収益	0	5,400	0	0	5,400
当期収入小計(A)	9,237,848	9,160,007	2,056,759	7,167,848	-77,841
前年度繰越金(B)	2,682,184	2,682,184	2,682,184	0	0
収入合計(A)+(B)	11,920,032	11,842,191	4,738,943	7,167,848	-77,841


【支出の部】

科目	予算	決算	一般会計	特別会計	差額
1. 借料・損料	350,000	399,300	399,300	0	-49,300
2. 人件費支出	1,700,000	1,849,363	1,849,363	0	-149,363
3. 謝金	100,000	140,578	140,578	0	-40,578
4. 交通費	192,000	377,103	377,103	0	-185,103
5. 会議費	16,000	52,494	52,494	0	-36,494
6. 通信運搬費	100,000	140,855	140,855	0	-40,855
7. 制作費	0	0	0	0	0
8. 印刷製本費	50,000	25,454	25,454	0	24,546
9. 事務消耗品費	50,000	35,824	35,824	0	14,176
10. 備品費	0	8,370	8,370	0	-8,370
11. 助成金事業費	0	0	0	0	0
12. 受託事業費	7,167,848	4,352,336	0	4,352,336	2,815,512
13. 支払手数料	5,000	5,908	5,908	0	-908
14. 雑費	10,000	64,228	64,228	0	-54,228
15. 業務委託費	200,000	237,220	237,220	0	-37,220
16. 予備費	10,000	250,000	250,000	0	-240,000
17. 未払金	0	247,737	0	247,737	-247,737
当期支出小計(C)	9,950,848	8,186,770	3,586,697	4,600,073	1,764,078
当期収支差額(A)-(C)	-713,000	973,237	-1,529,938	0	1,686,237
次期繰越収支差額(D)	1,969,184	3,655,421	1,152,246	0	1,608,396


【監査報告】

上記会計報告書類に関して、平成30年5月10日に監査を行ったところ、
帳票類もそろっており、相違ないこと承認します。

監事

牧野カツコ 

監事

高木梨絵子 

にっぽん子育て応援団 2018年度活動計画書

(2018年4月1日～2019年3月31日)

1 重点活動目標の設定

- ・2015年4月「子ども・子育て支援新制度」が本格スタートした。2012年度年次総会において設定した重点活動目標の実現に向けて、子ども・子育て支援施策新制度推進の財源確保とともに、家族給付へのさらなる国民の理解を求め、事業の中身、質についての議論を進めて行く。
- ・2019年度に創立10周年を迎えるにあたり、今一度原点に立ち返り、社会全体で子どもと子育てを応援する機運の醸成とともに財源確保とその方策、望ましい保障と負担のあり方などについて、国会議員や有識者、支援者、当事者とともに学び、考える機会を積極的につくっていくこととしたい。

- ・「真の社会保障・税一体改革を通じた子ども・子育て支援の充実を」アピールより

「にっぽん子育て応援団の目標」

すべての子どもたちが、家族の愛情に生まれ、
また、子ども同士の積極的な関わり合いの中で、
そして、地域や社会の多くのおとなたちの慈しみの中で、
心豊かに成長できる環境を保障すること」

「目標実現のためのにっぽん子育て応援団のアピール」

1. 子どもと家族を支える質的環境向上のためにさらなる財源を
2. 着実な事業計画の推進を
3. 当事者の声が反映されるしくみを

2 啓発活動

- ・ホームページによる普及啓発活動

公式サイト閲覧総数 1,053,265 (2018年3月31日現在) (2017年3月31日現在 918,706)

	30年度初頭数値	30年度末目標値
個人サポーター宣言	4701人	5000人
企業・団体サポーター	37社	40社
NPO・市民団体サポーター	269団体	280団体
自治体首長サポーター登録	33人	40人

- ・特に今年度は自治体首長に積極的に働きかけていく。

3 調査研究活動

地域まるごとケア・プロジェクトに伴う地域包括及び子育て世代包括ケア先進自治体調査
全国4カ所でのヒアリングを行い、全国6カ所で地域人材交流研修会を開催し、調査内容を報告書にまとめるとともに報告会で発表する。

4 情報提供・交流活動

- (1) 勉強会等の開催(企業・団体サポーター向け講座ほか)

首都圏3カ所で開催する。

うち1回は企業・団体サポーター向け講座とする。

- (2) メールマガジンの発行

毎月1回発行

- (3) サポーター登録団体用告知ブログおよび「子ども・子育て会議推進応援団」ブログの運営

サポーター団体のイベント等を告知するとともに、国の子ども・子育て会議の傍聴記や 地方版子ども・子育て会議設置の動き、勉強会報告など、国の動きや全国各地の動きを逐次紹介して行く。

(4)「NPO 市民活動団体 ML」「わがまちの子ども・子育て会議 ML」の運営

全国の NPO 市民団体の情報交流、地方版子ども・子育て会議に関わる行政マン、NPO など、関心の高い層を集約、情報交流、意見交換の場としてもらう。

(5) 調査、研究プロジェクトなどを通じて得られた情報などの提供を、ホームページや facebook、集会などを通じて行う。また、各活動の知見を活かした交流事業、意見交換会、アピール集会等を開催する。

5 政策提言活動

・年に2回(5月および11月ごろ)フォーラム等を開催し、具体的な提案を、政府、自治体、関係団体、市民等に広く提言を行う。

6 講師派遣活動

・世代、党派を超え、社会が丸丸となって子ども・子育て家庭を応援する社会づくりに向けて、地域、職場での子育てを応援する気運の醸成のため、団長、企画委員、運営委員などによる講師派遣を行う。

7 地域まるごとケア・プロジェクト活動

・さわやか福祉財団からの委託事業。2015年度～2017年度の第1期を終了、2018年度～2020年度の第2期を受託。全世代に向けた地域包括ケア＝地域まるごとケア体制構築に向け、子育て支援コーディネーターの実態把握と、生活支援コーディネーターとの地域連携体制を築ける子育て支援コーディネーター養成と普及、地域保健福祉に子ども・子育ての視点を盛り込むよう各方面に働きかける活動を行う。

8 その他の活動

・上記事業の推進のために、運営委員会および事務局会議を、毎月1回開催する。

にっぽん子育て応援団 平成30年度収支予算書 (2018年4月1日~2019年3月31日)

【収入の部】

単位 (円)

科目	予算	一般会計	特別会計	収入内訳
1. 会費収入	1,050,000	150,000		(団長&企画委員) @10,000円×15人 150,000
		150,000		(自治体首長新規&継続) @10000円×15人 150,000
		150,000		(企業・団体新規) @50,000円×3社 150,000
		400,000		(企業・団体継続) @50,000円×8社 400,000
		60,000		(企業・団体継続) @30,000円×2社 60,000
		140,000		(企業・団体継続) @20,000円×7社 140,000
2. 賛同金収入	200,000	200,000	0	(個人) @1,000円×200人 200,000
3. 民間助成金収入	0	0	0	
4. 講師派遣事業収入	300,000	300,000	0	目標額
5. 寄付金収入	100,000	100,000	0	
6. 事業受託費	7,803,872	0	7,803,872	さわやか福祉財団受託事業見積
7. 受託事業進行管理収入	836,680	0	836,800	さわやか福祉財団受託事業見積
8. 資料代収入	200,000	200,000	0	春・秋フォーラム
9. 雑収入	10,000	10,000	0	
当期収入小計 (A)	10,500,552	1,860,000	8,640,672	
前年度繰越金 (B)	3,655,421	3,655,421	0	(内、2009年度借入金150万円、2014年度借入金25万円を含む)
収入合計 (A)+(B)	14,155,973	5,515,421	8,640,672	

【支出の部】

科目	予算	一般会計	特別会計	支出内訳
1. 借料・損料	350,000	350,000	0	事務所家賃 (@20,000円×12ヶ月+年間登録料)+会議室使用料ほか
2. 人件費支出	1,700,000	1,700,000	0	事務局・アルバイト人件費 @ (100,000円+10000円×2)×12ヶ月
3. 謝金	100,000	100,000	0	講師謝金
4. 交通費	192,000	192,000	0	事務局交通費 @800円×20日×12ヶ月
5. 会議費	16,000	16,000	0	茶菓・弁当代
6. 通信運搬費	100,000	100,000	0	電話代・郵送・メール/宅配便・サーバー・運搬費
7. 制作費	0	0	0	HP制作費、ロゴマーク商品製作費
8. 印刷製本費	50,000	50,000	0	コピー・リソグラフ・印刷費(パンフレット・封筒)
9. 事務消耗品費	50,000	50,000	0	用紙、プリンタインク・文具等
10. 備品費	0	0	0	
11. 助成事業費	0	0	0	
12. 受託事業費	8,640,672	0	8,640,672	さわやか福祉財団受託事業
13. 支払手数料	5,000	5,000	0	振込み手数料
14. 雑費	10,000	10,000	0	
15. 業務委託費	200,000	200,000	0	HP管理関連 @20,000円×12ヶ月+サーバーレンタル料
16. 予備費	10,000	10,000	0	
当期支出小計 (C)	11,423,672	2,783,000	8,640,672	
収支差額 (A)-(C)	(923,120)	(923,000)	0	
次期繰越収支差額 (D)	2,732,301	2,732,421	0	

にっぽん子育て応援団の運営体制について

1. 団長について

団長は、樋口恵子団長、堀田力団長、安藤哲也団長、勝間和代団長の4名体制とする。

2 企画委員について

渥美雅子：弁護士

◎安藤哲也：NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事

岩田喜美枝：財団法人21世紀職業財団会長

奥山千鶴子：NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長

◎勝間和代：経済評論家

倉田 薫：池田市長

神津里季生：日本労働組合総連合会会長

林文子：横浜市長

◎樋口恵子：NPO法人高齢社会をよくする女性の会理事長・東京家政大学名誉教授
女性未来研究所所長

◎堀田力：公益財団法人さわやか福祉財団会長・弁護士

棕野美智子：松山大学特任教授

村木厚子：津田塾大学総合政策学部客員教授

柳澤正義：国立成育医療研究センター名誉総長・小児科医

山田正人：「経産省の山田課長補佐、ただ今育休中」著者

吉田恒雄：認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク理事長

◎は応援団長（共同代表）

3. 運営委員について

奥山千鶴子(NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長)

* 高木 梨絵子(日本労働組合総連合会総合政策局・生活福祉局)

高祖 常子(認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク理事)

有馬 正史(認定NPO法人さわやか青少年センター理事長)

* 牧野カツコ(NPO法人高齢社会をよくする女性の会)

高橋 伸夫(NPO法人ファザーリング・ジャパン)

山田 麗子(「遊育」編集長)

* は監事

4. 事務局体制について

當間 紀子 主に企画・広報と渉外および地域まるごとケア・プロジェクトを担当

青木八重子 主に会計業務および地域まるごとケア・プロジェクトを担当

小原 聖子 主にホームページ・ブログ管理等の業務を担当

5. 運営体制について

- 「役員」とは、団長、企画委員、運営委員を指し、この中から事務局長と監事を選出する。
- 役員総会は、原則年1回開催し、応援団の活動の基本的事項(規約改定、事業計画、予算、事業報告、決算、役員の選任等)について審議する。
- 団長・企画会議は、年4回開催し、子育て応援団の活動の方向性について審議する。
- 運営委員会は、毎月1回開催し、各種事業の企画運営その他について審議する。
 - * 運営委員会メンバーは、団長、企画委員、運営委員、事務局とする。
 - * 応援団の機動的運営のため、各種事業の企画運営及び日常の業務運営については、事業計画等で決められた範囲において、運営委員会が決定できることとする。
- 年度途中で事業計画を変更する必要がある場合は、原則として団長・企画会議に諮り、事後に役員総会で報告することとする。